

令和5年度文化芸術イベント追い風事業 実績一覧表

No.	分 類	団 体 名	事 業 名	開催日	参加者数	事 業 実 績
1	主催	文化があふれるまちづくり委員会	親子de体験みつカルセとうち	令和5年8月6日	1,303	子どもと保護者向けの芸術文化体験型イベントとして開催した。メインステージのoto-wa&7stepsスペシャルコンサートでは子ども向けの曲目だけでなく、瀬戸内市の市内放送で流れる曲や市内の企業の曲などを披露したことで、どの世代も親しめるステージとなった。某ドラッグストアや百貨店の曲が演奏されると完全に来場者の心をつかんでいた。レジン体験ブースも盛り上がりを見せ、多くの方が来場した。他のコーナーでも、楽しみながらも意欲的に取り組む子どもたちの姿が多く見られた。特に図画チャレンジや書道チャレンジでは夏休みの宿題を終わらせるだけでなく、描き方のコツを教えてもらうことで向上心を持って取り組めた。
2	主催	文化があふれるまちづくり委員会	親子de体験みつカルセとうち	令和6年2月25日	939	令和5年度二度目の同イベントを開催した。メインステージの「KA・GU・RA こども神楽&糸あやつり人形劇神楽」では、糸あやつり人形劇団つきみ草と成羽備中神楽育成会による子ども神楽での備中神楽「大蛇退治」が披露された。同世代の子どもによる県内屈指の演目により、来場者の目は舞台上にくぎ付けとなっていた。もちつきや箏曲などの伝統を感じるコーナーや、親子で生花やヨガを体験するコーナー、邑久高校美術部の生徒にイラストの描き方を直接教えてもらい、作品を缶バッジにできるコーナー、タブレットやパソコンでプログラミングを楽しく学ぶコーナーなど、日常では体験しにくいユニークなコーナーが実現できた。
3	主催 (ホールパフォーマンス)	【主管】 日台文化交流の会	日台音楽交流会	令和5年5月21日	320	故乙倉俊氏より申請があったが、志半ばでご逝去された。その後、beZen鼓空の石原新代表らが遺志を受け継ぎ、犬島での屋外フェスティバルと関連付けて実現させた。台湾のウクレレチームU-SKY-GROUPや全国的に活躍している蝦名宇摩氏やakada bear parkなどの出演によって非常に高いクオリティのコンサートとなった。また、ジャンルもポップスからジャズ、民謡、和太鼓と多岐にわたっていた。
6	主催 (ホールパフォーマンス)	【主管】 大笑い一座	大笑い一座特別公演 「備前福岡今昔ものがたり」	令和5年7月30日	535	邑久高校演劇部員や瀬戸内市観光協会職員らも参加し、文化・歴史・観光の観点で楽しめる演目となった。刀鍛冶文化、一遍上人、足利尊氏、児島高德など、備前福岡のまちを舞台に組み立てられていた。2部ではバラエティーショーがあり、岩見神楽の流れをくむ大蛇やミュージカル俳優の清水ゆき氏、名刀太鼓などが出演し会場を大いに盛り上げた。
7	主催 (ホールパフォーマンス)	【主管】 箏曲三上社明寿会	箏曲明寿会お弾き初め会	令和6年1月28日	120	「春の海」など、箏曲や尺八などの演奏によって叙情豊かな新春の事業となった。非常に高いクオリティの演奏により、来場された方にとっても満足度の大変高い公演となった。また、市民にとって伝統音楽を気軽に聴きに行ける恒例のイベントがあることで、芸術文化のすそ野がひろがる一助となっている。
8	主催 (ロビーパフォーマンス)	【主管】 せとうちこども合唱団 ティンカーベル	歌い継ぎたい春の歌～日本人の 心に沁みる春の歌～	令和6年3月31日	110	能登半島地震の復興支援へのチャリティーの一環として開催。せとうちこども合唱団ティンカーベルによる学校で習う歌や卒業式の歌のステージを披露した。また、フルート奏者でもある野崎めぐみ委員やピアニストの中務恭子氏による高いクオリティの演奏もあり、楽しく叙情豊かなロビーパフォーマンスになった。来場者が一様に口ずさむ姿が見られた。瀬戸内市公民館Youtubeチャンネルでライブ配信し、アーカイブ動画として現在も公開されている。
9	協賛	瀬戸内市合唱コンサート実行委員会	未来奏でるパッションナイト・サウンドフェスティバル合唱コンサート	令和5年10月1日	262	市内中学校に協力を得て、各校の校歌の合唱を録音し、映像化したものを本番で流した。若年層の合唱への関心が高まるとともに、母校の校歌を通じてシビックプライドの醸成につながる機会となった。また、邑久高校の生徒が考案したイベント名も事業の周知の効果があり、連携がとられていた。市民から愛着を感じるイベント名となった。
10	協賛	瀬戸内市器楽教育研究会	未来奏でるパッションナイト・サウンドフェスティバル器楽コンサート	令和5年11月5日	415	野崎めぐみ委員や長谷川氏が中心となり酔聖会ウインドブラスの団員など、すべての参加団体が率先して準備などに携わり、円滑な運営ができていた。出演者が他のプログラムをなるべく長い時間観覧できるように工夫したことで、自らの団体の演奏だけでなく、事業全体に参画する意識の向上につながった。この先継続することで瀬戸内市の芸術文化活動の発展に寄与する。
11	協賛	瀬戸内市吟剣詩舞研究会	第12回瀬戸内市吟剣詩舞発表会	令和6年3月10日	351	市内外の吟剣詩舞流派に属する46名が出演した。また、吟剣詩舞青年部や市外の出演者ら15名がゲスト出演し、伝統芸能を介して交流につながった。2階席を開放するほどの280名の来場があり、大盛況だった。出演者にとって意欲や意識の向上、生きがいににつながり、市民にとって貴重な伝統文化に親しむことができる機会となった。
計					4,355	